

注3

大学番号：私012

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

岩手医科大学 看護学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人岩手医科大学  
平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 矢巾キャンパス教務課

職名・氏名 課長 佐々木 寛人

電話番号 019-651-5110（内線5505）

（夜間） 019-651-5111（代表）

F A X 019-698-1826

e-mail kangokyomu@j.iwate-med.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 看護学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人岩手医科大学

## (2) 大学名

岩手医科大学

## (3) 大学の位置

〒028-3694

岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ アキラ) 小川 彰 (平成24年2月)		
学長	(ソブエ ケンジ) 祖父江 憲治 (平成28年4月)		
学部長	(シマモリ ヨシコ) 嶋森 好子 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4 年	90 人	3年次 5 年次 人	370 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	90	人	90	人	1.04 倍	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
志願者数	( - )	( - )	( - )	( - )	308	( - )	( - )	293	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
受験者数	( - )	( - )	( - )	( - )	290	( - )	( - )	285	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
合格者数	( - )	( - )	( - )	( - )	142	( - )	( - )	139	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
B 入学者数	( - )	( - )	( - )	( - )	95	( - )	( - )	93	( - )	( - )		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]		
入学定員超過率 B/A	-		-		1.05		1.03					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている

場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	95	-	93	-	[ - ]	[ - ]	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )					
2年次			-	-	-	-	95	-	[ - ]	[ - ]	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	[ - ]	[ - ]	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次									-	-	
									[ - ]	[ - ]	
									( - )	( - )	
計	-	-	-	-	95		188		[ - ]	[ - ]	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	人	人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	95 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	188 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合 計	283 人	0 人				

(注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\text{—}} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{\text{—}}{\text{—}} = \boxed{\text{—}} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{188} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
I P E 関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								20
	チーム医療リテラシー	3前	1			3					15
	4学部合同セミナー	4前	1			7	1				21
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1								1
	基礎自然科学	1前	1				1				
	情報科学	1前	2								1
	健康運動科学	1前	2								4
	社会福祉	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	医療面接の基礎	1後	1								2
	生命倫理学	1後	1								1
	English Speaking & Listening	1後	1								4
	English Reading & Writing	1通	3								3
	医療英語	2前	1								2
	ベーシック生物	1前		1							3
	スタンダード生物	1前		1							3
	アドバンス生物	1前		1							9
	自然・文化人類学	1前		1							6
	ベーシック化学	1前		1							1
	ベーシック物理	1前		1							3
	解析学入門	1前		1							1
	医療とスポーツ	1前		1							5
	文学の世界	1前		1							1
	道徳のしくみ	1前		1							1
	ベーシック数学	1前		1							2
	アドバンス化学	1前		1							1
	医療とコミュニケーション	1前		1							4
	実践英語	1前		1							1
	医療と福祉	1前				1	1	1			9
	科学英語	1後									1
	英語学	1後									1
医療と物語	1後									5	
人間関係論	1後									2	
パーソナリティ心理学	1後									1	
哲学の世界	1後									1	
医療と法律	1後									1	
専門科目群	栄養学	1後	1			1					
	生化学	1後	2				1				
	感染免疫学	1後	2					1			
	基礎解剖学	1通	2								1
	基礎生理学	1通	2								1
	病理学概論	1後	1								1
	薬理学	2前	2				1	1			
	臨床心理学	2前	1								1
	疾病論Ⅰ	2前	2			1					
	疾病論Ⅱ	2前	2								8
	疾病論Ⅲ	2後	2								9
	疾病論Ⅳ	2後	2								5
	医学・医療入門	1前	1			2	1	1			3
	公衆衛生学・疫学	3前	2								1
保健統計学	3前	2								1	
看護専門科目	看護学概論	1前	2			3	2				
	看護倫理学	3前	1			1		1			
	基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5		
	基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学Ⅲ	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学Ⅳ	1後	2			1					
基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
I P E 関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								25
	チーム医療リテラシー	3前	1					3			14
	4学部合同セミナー	4前	1					7	1		20
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1								1
	基礎自然科学	1前	1					1			
	情報科学	1前	2								1
	健康運動科学	1前	2								4
	社会福祉	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	医療面接の基礎	1後	1								2
	生命倫理学	1後	1								1
	English Speaking & Listening	1後	1								4
	English Reading & Writing	1通	3								3
	医療英語	2前	1								2
	ベーシック生物	1前		1							3
	スタンダード生物	1前		1							3
	アドバンス生物	1前		1							10
	自然・文化人類学	1前		1							7
	ベーシック化学	1前		1							1
	ベーシック物理	1前		1							3
	解析学入門	1前		1							1
	医療とスポーツ	1前		1							5
	文学の世界	1前		1							1
	道徳のしくみ	1前		1							1
	ベーシック数学	1前		1							2
	アドバンス化学	1前		1							1
	医療とコミュニケーション	1前		1							3
	実践英語	1前		1							1
	医療と福祉	1前				1	1	1			9
	科学英語	1後									1
	英語学	1後									1
医療と物語	1後									5	
人間関係論	1後									2	
パーソナリティ心理学	1後									1	
哲学の世界	1後									1	
医療と法律	1後									1	
専門科目群	栄養学	1後	1			1					
	生化学	1後	2				1				
	感染免疫学	1後	2					1			
	基礎解剖学	1通	2								1
	基礎生理学	1通	2								1
	病理学概論	1後	1								3
	薬理学	2前	2				1	1			
	臨床心理学	2前	1								2
	疾病論Ⅰ	2前	2			1					
	疾病論Ⅱ	2前	2								8
	疾病論Ⅲ	2後	2								9
	疾病論Ⅳ	2後	2								5
	医学・医療入門	1前	1			2	1	1			3
	公衆衛生学・疫学	3前	2								1
保健統計学	3前	2								1	
看護専門科目	看護学概論	1前	2			3	2				
	看護倫理学	3前	1			1		1			
	基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5		
	基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学Ⅲ	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学Ⅳ	1後	2			1					
基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目群	成人看護学	成人看護学概論	2前	1			1	1				
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2				1	1			
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1				
		成人看護学演習Ⅰ	2前	1				1	2	1		
		成人看護学演習Ⅱ	3前	1				1	2	1		
	老年看護学	老年看護学概論	2前	1				1				
		老年看護方法論	2後	2				1				
		老年看護学演習	3前	1				1	1	1		
	小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護方法論	2後	2			1	1				
		小児看護学演習	3前	1			1	1		1		
	母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護方法論	2後	2			1	2				
		母性看護学演習	3前	1			1	2	1	1		
	精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
		精神看護方法論	2後	2			1	2				
		精神看護学演習	3前	1			1	2				
	在宅看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
		地域看護学Ⅱ	3前	2			1					
		地域看護学方法論	3前	1			1	1				
地域看護学展開論		3前	1			1	1					
在宅看護学概論		2前	1			1						
在宅看護方法論		2後	2				1	1				
在宅看護学演習		3前	1			1	2	2	1			
看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1	
	国際看護学	2前	1			1		1				
	看護研究入門	2前	1			1						
	医療安全論	2後	1			1						
	緩和ケア論	2後	1								1	
	看護政策論	4前	1			1						
	看護管理学	4前	1			1						
	看護研究	4前	1			7	3	9	2			
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	2			3	1	4	5	2		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	1			1	1	2	7	1		
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2			
	成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1		
	老年看護学実習	3後~4前	4				1		1	1		
	小児看護学実習	3後~4前	2			1		1		1		
	母性看護学実習	3後~4前	2			1		2	1	1		
	精神看護学実習	3後~4前	2			1		2				
	在宅看護学実習	3後~4前	2			1		2	2	1		
	統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5		
発展科目	医療情報論	3・4前		1							1	
	先端医療論	3・4前		1							7	
	災害医療論	3・4前		1							1	
	家族ケア論	4前		1		1						
	看護教育論	4前		1							1	
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前		1		1						
	公衆衛生看護方法論	3後		2		1	3	2	1	2		
	公衆衛生看護展開論	3後		2		1	2	2	1	1		
	公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前		2		1	2	2	1			
	公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前		1		1						
	公衆衛生看護学実習	4後		3		1	2	2	1			
	日本国憲法	2後		2							1	
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前		2		1						
	助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1	1					
	助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1	1					
	助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1	2					
	助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1	2	1	1			
	助産診断技術学Ⅴ	4後		2		1	2					
	地域母子保健	4後		1		1	2					
	助産管理学	4後		1		1						
	助産学実習Ⅰ	4後		2		1	2	1				
	助産学実習Ⅱ	4後		8		1	2	1	1			
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	7	2	9				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目群	成人看護学	成人看護学概論	2前	1			1	1			
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2				1	1		
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1			
		成人看護学演習Ⅰ	2前	1				1	2	1	
		成人看護学演習Ⅱ	3前	1				1	2	1	
	老年看護学	老年看護学概論	2前	1				1			
		老年看護方法論	2後	2				1			
		老年看護学演習	3前	1				1	1	1	
	小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1				
		小児看護方法論	2後	2			1	1			
		小児看護学演習	3前	1			1	1		1	
	母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1				
		母性看護方法論	2後	2			1	2			
		母性看護学演習	3前	1			1	2	1	1	
	精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1				
		精神看護方法論	2後	2			1	2			
		精神看護学演習	3前	1			1	2			
	在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1				
		地域看護学Ⅱ	3前	2			1				
		地域看護学方法論	3前	1			1	1			
地域看護学展開論		3前	1			1	1				
在宅看護学概論		2前	1			1					
在宅看護方法論		2後	2				1	1			
在宅看護学演習		3前	1			1	2	2	1		
看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1
	国際看護学	2前	1			1			1		
	看護研究入門	2前	1			1					
	医療安全論	2後	1			1					
	緩和ケア論	2後	1								5
	看護政策論	4前	1			1					
	看護管理学	4前	1			1					
	看護研究	4前	1			7	3	9	2		
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	1	4	5	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	7	1	
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
	成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1	
	老年看護学実習	3後~4前	4				1		1	1	
	小児看護学実習	3後~4前	2			1		1		1	
	母性看護学実習	3後~4前	2			1		2	1	1	
	精神看護学実習	3後~4前	2			1		2			
	在宅看護学実習	3後~4前	2			1		2	2	1	
	統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5	
発展科目	医療情報論	3・4前		1							1
	先端医療論	3・4前		1							7
	災害医療論	3・4前		1							1
	家族ケア論	4前		1		1					
	看護教育論	4前		1							1
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前		1		1					
	公衆衛生看護方法論	3後		2		1	3	2	1	2	
	公衆衛生看護展開論	3後		2		1	2	2	1	1	
	公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前		2		1	2	2	1		
	公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前		1		1					
	公衆衛生看護学実習	4後		3		1	2	2	1		
	日本国憲法	2後		2							1
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前		2		1					
	助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1	1				
	助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1	1				
	助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1	2				
	助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1	2	1	1		
	助産診断技術学Ⅴ	4後		2		1	2				
	地域母子保健	4後		1		1	2				
	助産管理学	4後		1		1					
	助産学実習Ⅰ	4後		2		1	2	1			
	助産学実習Ⅱ	4後		8		1	2	1	1		
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	7	2	9			
自由科目	地域医療課題解決演習	1~4通			1					3	



【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
I P E 関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2									25	
	チーム医療リテラシー	3前	1			3						14	
	4学部合同セミナー	4前	1			7	1					20	
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	基礎自然科学	1前	1			1						1
		情報科学	1前	2									1
		健康運動科学	1前	2									4
		社会福祉	1前	1									1
		心理学	1前	1									1
		医療面接の基礎	1後	1									2
		生命倫理学	1後	1									1
		English Speaking & Listening	1後	1									4
		English Reading & Writing	1通	3									3
		医療英語	2前	1									2
		ベーシック生物	1前		1								3
		スタンダード生物	1前		1								3
		アドバンスト生物	1前		1								9
		自然・文化人類学	1前		1								6
		ベーシック化学	1前		1								1
	ベーシック物理	1前		1								3	
	解析学入門	1前		1								1	
	医療とスポーツ	1前		1								5	
	文学の世界	1前		1								1	
	道徳のしくみ	1前		1								1	
	ベーシック数学	1前		1								2	
	アドバンスト化学	1前		1								1	
	医療とコミュニケーション	1前		1								4	
	実践英語	1前		1								1	
	医療と福祉	1前				1	1	1				9	
	科学英語	1後										1	
	英語学	1後										1	
	医療と物語	1後										5	
	人間関係論	1後										2	
	パーソナリティ心理学	1後										1	
哲学の世界	1後										1		
医療と法律	1後										1		
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1			1						
		生化学	1後	2				1					
		感染免疫学	1後	2					1				
		基礎解剖学	1通	2									1
		基礎生理学	1通	2									1
		病理学概論	1後	1									1
		薬理学	2前	2				1	1				
		臨床心理学	2前	1									1
		疾病論Ⅰ	2前	2			1						
		疾病論Ⅱ	2前	2									8
		疾病論Ⅲ	2後	2									8
		疾病論Ⅳ	2後	2									5
		医学・医療入門	1前	1			2	1	1				3
		公衆衛生学・疫学	3前	2									1
		保健統計学	3前	2									1
看護専門科目群	基礎看護学	看護学概論	1前	2			3	2					
		看護倫理学	3前	1			1		1				
		基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5			
		基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5			
		基礎看護学Ⅲ	1後	1					1	5			
	基礎看護学Ⅳ	1後	2			1							
	基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5				
	成人看護学	成人看護学概論	2前	1				1	1				
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2					1	1			
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1					
成人看護学演習Ⅰ		2前	1					1	2	1			
成人看護学演習Ⅱ		3前	1				1		2	1			

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目群	看護専門科目	老年看護学概論	2前	1			1						
		老年看護学方法論	2後	2			1						
		老年看護学演習	3前	1			1		1	1			
		小児看護学概論	2前	1			1						
		小児看護学方法論	2後	2			1		1				
		小児看護学演習	3前	1			1		1		1		
		母性看護学概論	2前	1			1						
		母性看護学方法論	2後	2			1		2				
		母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1		
	在宅・地域看護学	精神看護学概論	2前	1			1						
		精神看護学方法論	2後	2			1		2				
		精神看護学演習	3前	1			1		2				
		地域看護学Ⅰ	1前	1			1						
		地域看護学Ⅱ	3前	2			1						
		地域看護学方法論	3前	1			1		1				
		地域看護学展開論	3前	1			1		1	1			
		在宅看護学概論	2前	1			1						
		在宅看護学方法論	2後	2					1	1			
	看護の統合と実践	在宅看護学演習	3前	1			1		2	2	1		
		災害ケア論	1前	1			1					1	
		国際看護学	2前	1			1			1			
		看護研究入門	2前	1			1						
		医療安全論	2後	1			1					1	
		緩和ケア論	2後	1									
		看護政策論	4前	1			1						
		看護管理学	4前	1			1						
		看護研究	4前	1			7	3	9	2			
		臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	1	4	5	2	
			基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	7	1	
			成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
成人看護学急性期実習	3後		3				1		2	1			
老年看護学実習	3後～4前		4				1		1	1			
小児看護学実習	3後～4前		2			1		1		1			
母性看護学実習	3後～4前		2			1		2	1	1			
精神看護学実習	3後～4前		2			1		2					
在宅看護学実習	3後～4前		2			1		2	2	1			
統合看護実習	4後		2			6	2	9	11	5			
発展科目	医療情報論	3・4前		1							1		
	先端医療論	3・4前		1							7		
	災害医療論	3・4前		1							1		
	家族ケア論	4前		1		1							
	看護教育論	4前		1							1		
	メンタルヘルスクエア論	4前		1		1							
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前		1		1							
	公衆衛生看護学方法論	3後		2		1		3	2	1	2		
	公衆衛生看護学展開論	3後		2		1		2	2	1	1		
	公衆衛生看護学管理論Ⅰ	4前		2		1		2	2	1			
	公衆衛生看護学管理論Ⅱ	4前		1		1							
	公衆衛生看護学実習	4後		3		1		2	2	1			
	日本国憲法	2後		2							1		
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前		2		1							
	助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1		1					
	助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1		1					
	助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1		2					
	助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1		2	1	1			
	助産診断技術学Ⅴ	4後		2		1		2					
	地域母子保健	4後		1		1		2					
	助産管理学	4後		1		1							
	助産学実習Ⅰ	4後		2		1		2	1				
助産学実習Ⅱ	4後		8		1		2	1	1				
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	7	2	9					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育内容充実のため兼任教員5名を追加したことに伴い、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の教員配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任25」に変更。
- ・兼任教員1名退職による就任辞退に伴い、「チーム医療リテラシー」の教員配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任14」へ、「4学部合同セミナー」の教員配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へそれぞれ変更（科目開講時までに後任教員を補充予定）。
- ・兼任教員1名退職による就任辞退に伴い、「疾病論Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更（科目開講時までに後任教員を補充予定）。
- ・留意事項3への対応に伴い、科目区分「在宅看護学」の名称を「在宅・地域看護学」に変更。
- ・留意事項4への対応に伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」の単位数を「2」から「1」へ、「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数を「1」から「2」へそれぞれ変更。

【平成30年度】

- ・教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「アドバンスト生物」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・授業運営上の都合により兼任教員1名を追加したことに伴い、「自然・文化人類学」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退に伴い、「医療とコミュニケーション」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。なお、共同担当者である兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
- ・教育内容の充実のため兼任教員2名を追加したことに伴い、「病理学概論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育内容の充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「臨床心理学」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・兼任教員退職による後任教員の補充として兼任教員1名を追加したことに伴い、「疾病論Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更（平成29年度から1名追加）。
- ・教育内容の充実のため兼任教員4名を追加したことに伴い、「緩和ケア論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・留意事項6への対応に伴い、教員の補充を必要とされた「看護研究」に専任教員1名（教授）を配置（平成29年8月教員審査済み）。なお、当該教員は、設置時の計画より同科目を担当することとしていたため、専任教員等の配置人数は変更なし。
- ・留意事項4への対応に伴い、指導体制の充実を図るため、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「講師2」から「講師4」にそれぞれ変更（平成29年8月教員審査済み）。
- ・教育課程の充実を図るため、新規科目として「地域医療課題解決演習」（科目区分：自由科目、配当年次：1～4通、単位数：1（自由）、教員配置：兼任・兼任3）を追加（学則変更の届出を提出済み）。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
78 科目	45 科目	1 科目	124 科目	78 科目 [     ]	45 科目 [     ]	2 科目 [ 1 ]	125 科目 [ 1 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」  
「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{124} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	矢巾キャンパス総合移転 整備事業用地開発行為同 意の条件のとおり、町道 の拡幅工事に係る道路用 地を矢巾町へ帰属（29） 分筆に伴う土地面積の増 加（30）		
	校舎敷地	390,917.79 m <sup>2</sup> <del>390,917.78</del> 399,834.21 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	390,917.79 m <sup>2</sup> <del>390,917.78</del> 399,834.21 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	92,313.78 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	92,313.78 m <sup>2</sup>			
	小 計	483,231.57 m <sup>2</sup> <del>483,231.56</del> 492,147.99 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	483,231.57 m <sup>2</sup> <del>483,231.56</del> 492,147.99 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	53,845.45 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	53,845.45 m <sup>2</sup>			
	合 計	537,077.02 m <sup>2</sup> <del>537,077.01</del> 545,993.44 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	537,077.02 m <sup>2</sup> <del>537,077.01</del> 545,993.44 m <sup>2</sup>			
(2) 校舎	専 用	118,532.62 m <sup>2</sup> ( 118,532.62 m <sup>2</sup> )	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
			0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	118,532.62 m <sup>2</sup> ( 118,532.62 m <sup>2</sup> )			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	28 室	74 室	33 室	2 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		一部共同部屋		
	看護学部 看護学科			23 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・設備の段階的整備 による増加ならびに教育 研究の充実のため図書・ 学術雑誌・視聴覚資料の 増加（30）
	看護学部	247 2,556 [241] (2,075 [247]) (1,256 [101])	109 105 [14] (109 ) (105 [14])	77 73 [13] (77 ) (73 [13])	110 54 (110) (14)	5,128 (5,128) (3,213)	15 (15) (8)	
	計	247 2,556 [241] (2,075 [247]) (1,256 [101])	109 105 [14] (109 ) (105 [14])	77 73 [13] (77 ) (73 [13])	110 54 (110) (14)	5,128 (5,128) (3,213)	15 (15) (8)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	5,112.38 m <sup>2</sup>		459 457		277,972		閲覧席の増加（29）	
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	5,513.56 m <sup>2</sup>		野球場2面、サッカー・ラグビー場2面、テニスコート12面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	282千円	282千円	図書購入費	13,894千円	11,127千円	14,109千円
	共同研究費等	10,848千円	10,848千円	設備購入費	123,833千円	67,715千円	1,000千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,650 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、研究助成金および補助金、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	岩手医科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
看護学部 看護学科	4	90	3年次5	370	学士(看護学)	1.04	平成29年度	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
医学部 医学科	6	123	3年次7	766	学士(医学)	0.99	昭和23年度	岩手県盛岡市内丸19-1	
歯学部 歯学科	6	73	-	438	学士(歯学)	0.72	昭和40年度	岩手県盛岡市中央通1-3-27	歯学部募集定員57名(定員超過率0.92倍)
薬学部 薬学科	6	120	-	920	学士(薬学)	0.90	平成19年度	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
大学の名称	岩手医科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医学研究科 生理系専攻	4	6	-	24	博士(医学)	0.12	昭和35年度	岩手県盛岡市内丸19-1	
病理系専攻	4	3	-	12	博士(医学)	0.58	昭和35年度	同上	
社会医学系専攻	4	2	-	8	博士(医学)	5.37	昭和35年度	同上	
内科系専攻	4	20	-	80	博士(医学)	0.52	昭和35年度	同上	
外科系専攻	4	19	-	76	博士(医学)	0.60	昭和35年度	同上	
医科学専攻	2	10	-	20	修士(医科学)	0.50	平成16年度	同上	
歯学研究科 歯学専攻	4	18	-	72	博士(歯学)	0.29	昭和58年度	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
薬学研究科 医療薬学専攻	4	3	-	12	博士(薬学)	1.00	平成25年度	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
薬科学専攻	2	3	-	6	修士(薬科学)	0.08	平成25年度	同上	
大学の名称	岩手看護短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
看護学科	3	-	-	-	短期大学士(看護学)	-	平成2年度	岩手県滝沢市大釜千が窪14番地1	平成29年より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	嶋森 好子 <平成29年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦 まゆみ <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安 民生 <平成29年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習
専	教授	野村 陽子 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学方法論 ※ 公衆衛生看護学展開論 ※ 公衆衛生看護学管理論Ⅰ 公衆衛生看護学管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	教授	高橋 亮 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	蛸崎 奈津子 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護学方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	嶋森 好子 <平成29年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦 まゆみ <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安 民生 <平成29年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習
専	教授	野村 陽子 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学方法論 ※ 公衆衛生看護学展開論 ※ 公衆衛生看護学管理論Ⅰ 公衆衛生看護学管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	教授	高橋 亮 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	蛸崎 奈津子 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護学方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	嶋森 好子 <平成29年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦 まゆみ <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安 民生 <平成29年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護学方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習
専	教授	野村 陽子 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学方法論 ※ 公衆衛生看護学展開論 ※ 公衆衛生看護学管理論Ⅰ 公衆衛生看護学管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	教授	高橋 亮 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ <b>基礎看護学実習Ⅱ</b> 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	蛸崎 奈津子 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護学方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	遠藤 龍人 <平成29年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習
専	准教授	秋山 智弥 <平成29年4月>
		4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	相馬 一二三 <平成30年4月>
		医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	相馬 一二三 <平成29年4月>
専	准教授	塚本 恭正 <平成29年4月>
		基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※
専	講師	三浦 幸枝 <平成30年4月>
		医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	三浦 幸枝 <平成29年4月>
専	講師	遠藤 太 <平成29年4月>
		看護倫理学 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	柏木 ゆきえ <平成29年4月>
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	三宅 美智 <平成30年4月>
		精神看護学演習 ※ 精神看護学実習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	遠藤 龍人 <平成29年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習
専	准教授	秋山 智弥 <平成29年4月>
		4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	相馬 一二三 <平成30年4月>
		医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	相馬 一二三 <平成29年4月>
専	准教授	塚本 恭正 <平成29年4月>
		基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※
専	講師	三浦 幸枝 <平成30年4月>
		医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	三浦 幸枝 <平成29年4月>
専	講師	遠藤 太 <平成29年4月>
		看護倫理学 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	柏木 ゆきえ <平成29年4月>
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	三宅 美智 <平成30年4月>
		精神看護学演習 ※ 精神看護学実習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	遠藤 龍人 <平成29年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習
専	准教授	秋山 智弥 <平成29年4月>
		4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	相馬 一二三 <平成30年4月>
		医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	塚本 恭正 <平成29年4月>
		基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※
専	講師	三浦 幸枝 <平成30年4月>
		医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	遠藤 太 <平成29年4月>
		看護倫理学 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	柏木 ゆきえ <平成29年4月>
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	三宅 美智 <平成30年4月>
		精神看護学演習 ※ 精神看護学実習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習





【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	松岡 真紀子 <平成31年4月>
		地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	助教	高橋 淳美 <平成32年4月>
		母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ
兼任	講師	高橋 淳美 <平成31年4月>
		母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼任	教授	寺山 靖夫 <平成30年4月>
		疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山 靖夫 <平成31年4月>
		疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	教授	土井田 稔 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	杉山 徹 <平成29年4月>
		医学・医療入門 ※
兼任	講師	杉山 徹 <平成30年4月>
		医学・医療入門 ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	黒坂 大次郎 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	小原 航 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	福島 明宗 <平成30年4月>
		疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	佐藤 孝 <平成29年4月>
		病理学概論
兼任	教授	坂田 清美 <平成31年4月>
		公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※
兼任	教授	佐藤 洋一 <平成29年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※
兼任	講師	佐藤 洋一 <平成31年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	松岡 真紀子 <平成31年4月>
		地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	助教	高橋 淳美 <平成32年4月>
		母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ
兼任	講師	高橋 淳美 <平成31年4月>
		母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼任	教授	寺山 靖夫 <平成30年4月>
		疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山 靖夫 <平成31年4月>
		疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	教授	土井田 稔 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	杉山 徹 <平成29年4月>
		医学・医療入門 ※
兼任	講師	杉山 徹 <平成30年4月>
		医学・医療入門 ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	黒坂 大次郎 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	小原 航 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	福島 明宗 <平成30年4月>
		疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	佐藤 孝 <平成29年4月>
		病理学概論
兼任	教授	坂田 清美 <平成31年4月>
		公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※
兼任	教授	佐藤 洋一 <平成29年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※
兼任	講師	佐藤 洋一 <平成31年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	松岡 真紀子 <平成31年4月>
		地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	助教	高橋 淳美 <平成32年4月>
		母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ
兼任	講師	高橋 淳美 <平成31年4月>
		母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼任	教授	寺山 靖夫 <平成30年4月>
		疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山 靖夫 <平成31年4月>
		疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー <b>医学・医療入門 ※</b>
兼任	教授	土井田 稔 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	黒坂 大次郎 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	小原 航 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	福島 明宗 <平成30年4月>
		疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	佐藤 孝 <平成29年4月>
		病理学概論 <b>※</b>
兼任	教授	坂田 清美 <平成31年4月>
		公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※
兼任	教授	佐藤 洋一 <平成29年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※ <b>地域医療課題解決演習</b>
兼任	講師	佐藤 洋一 <平成31年4月>
		チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※ <b>地域医療課題解決演習</b>

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	櫻井 滋 <平成29年4月> 医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※
兼任	教授	志賀 清人 <平成30年4月> 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	有賀 久哲 <平成31年4月> 先端医療論 ※
兼任	教授	出羽 厚二 <平成29年4月> 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	佐々木 真理 <平成31年4月> 先端医療論 ※
兼任	教授	石垣 泰 <平成31年4月> 公衆衛生看護方法論 ※
兼任	教授	伊藤 智範 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼任	教授	眞瀬 智彦 <平成29年4月> 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論
兼任	教授	大塚 耕太郎 <平成30年4月> 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	原田 英光 <平成31年4月> チーム医療リテラシー 先端医療論 ※
兼任	教授	石崎 明 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	八重柏 隆 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	佐藤 和朗 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	岸 光男 <平成31年4月> チーム医療リテラシー
兼任	教授	佐藤 健一 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	駒野 宏人 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※
兼任	教授	中西 真弓 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※
兼任	教授	小澤 正吾 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	那谷 耕司 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	藤井 勲 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	高橋 寛 <平成31年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー

## 【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	櫻井 滋 <平成29年4月> 医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※
兼任	教授	志賀 清人 <平成30年4月> 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	有賀 久哲 <平成31年4月> 先端医療論 ※
兼任	教授	出羽 厚二 <平成29年4月> 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	佐々木 真理 <平成31年4月> 先端医療論 ※
兼任	教授	石垣 泰 <平成31年4月> 公衆衛生看護方法論 ※
兼任	教授	伊藤 智範 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼任	教授	眞瀬 智彦 <平成29年4月> 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論
兼任	教授	大塚 耕太郎 <平成30年4月> 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	原田 英光 <平成31年4月> チーム医療リテラシー 先端医療論 ※
兼任	教授	石崎 明 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	八重柏 隆 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	佐藤 和朗 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	岸 光男 <平成31年4月> チーム医療リテラシー
兼任	教授	佐藤 健一 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	駒野 宏人 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※
兼任	教授	中西 真弓 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※
兼任	教授	小澤 正吾 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	那谷 耕司 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	藤井 勲 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	高橋 寛 <平成31年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	櫻井 滋 <平成29年4月> 医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※
兼任	教授	志賀 清人 <平成30年4月> 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	有賀 久哲 <平成31年4月> 先端医療論 ※
兼任	教授	出羽 厚二 <平成29年4月> 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	佐々木 真理 <平成31年4月> 先端医療論 ※
兼任	教授	石垣 泰 <平成31年4月> 公衆衛生看護方法論 ※
兼任	教授	伊藤 智範 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼任	教授	眞瀬 智彦 <平成29年4月> 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論
兼任	教授	大塚 耕太郎 <平成30年4月> 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	原田 英光 <平成31年4月> チーム医療リテラシー 先端医療論 ※
兼任	教授	石崎 明 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	八重柏 隆 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	佐藤 和朗 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	岸 光男 <平成31年4月> チーム医療リテラシー
兼任	教授	佐藤 健一 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	駒野 宏人 <平成29年4月> 4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※
兼任	教授	中西 真弓 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※
兼任	教授	小澤 正吾 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	那谷 耕司 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	藤井 勲 <平成32年4月> 4学部合同セミナー
兼任	教授	高橋 寛 <平成31年4月> チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	弘瀬 雅教 ＜平成32年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界
兼任	教授	平林 香織 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	准教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論
兼任	准教授	高橋 和宏 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅲ ※
兼任	准教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 基礎生理学
兼任	准教授	水野 大 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	田島 克巳 ＜平成32年4月＞ 4学部合同セミナー

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	弘瀬 雅教 ＜平成32年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界
兼任	教授	平林 香織 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	准教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論
兼任	准教授	
兼任	教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 基礎生理学
兼任	准教授	水野 大 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	田島 克巳 ＜平成32年4月＞ 4学部合同セミナー

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	弘瀬 雅教 ＜平成32年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界
兼任	教授	平林 香織 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	准教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論 ※
兼任	教授	天野 博雄 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 基礎生理学
兼任	准教授	水野 大 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅱ ※
兼任	教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	田島 克巳 ＜平成32年4月＞ 4学部合同セミナー

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 啓二郎 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	准教授	平海 晴一 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	准教授	小山 理恵 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	久慈 昭慶 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	久慈 昭慶 <平成31年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	准教授	藤原 尚樹 <平成29年4月>
		基礎解剖学
兼任	准教授	相澤 文恵 <平成29年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学
兼任	講師	相澤 文恵 <平成31年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学
兼任	准教授	小山 薫 <平成29年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	田中 良一 <平成31年4月>
		先端医療論 ※
兼任	講師	秋山 有史 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	岩谷 岳 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	大塚 幸喜 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	新田 浩幸 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	西塚 哲 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	吉田 研二 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	高田 亮 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	講師	本多 孝之 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 啓二郎 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	准教授	平海 晴一 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	准教授	小山 理恵 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	久慈 昭慶 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	久慈 昭慶 <平成31年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	准教授	藤原 尚樹 <平成29年4月>
		基礎解剖学
兼任	准教授	相澤 文恵 <平成29年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学
兼任	講師	相澤 文恵 <平成31年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学
兼任	准教授	小山 薫 <平成29年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	田中 良一 <平成31年4月>
		先端医療論 ※
兼任	講師	秋山 有史 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	岩谷 岳 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	大塚 幸喜 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	新田 浩幸 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	西塚 哲 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	吉田 研二 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	高田 亮 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	講師	本多 孝之 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 啓二郎 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	准教授	平海 晴一 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	准教授	小山 理恵 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	久慈 昭慶 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	久慈 昭慶 <平成31年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	准教授	藤原 尚樹 <平成29年4月>
		基礎解剖学
兼任	教授	相澤 文恵 <平成29年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学
兼任	准教授	小山 薫 <平成29年4月>
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	教授	田中 良一 <平成31年4月>
		先端医療論 ※
兼任	講師	秋山 有史 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	岩谷 岳 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	大塚 幸喜 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	新田 浩幸 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	西塚 哲 <平成30年4月>
		疾病論Ⅱ ※
兼任	講師	吉田 研二 <平成30年4月>
		疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	高田 亮 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー
兼任	講師	本多 孝之 <平成32年4月>
		4学部合同セミナー

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 医療と福祉 ※
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	講師	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	佐藤 淳也 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	助教	相澤 純 ＜平成32年4月＞ 4学部合同セミナー
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	助教	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語
兼任	助教	藤澤 美穂 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 臨床心理学

## 【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 医療と福祉 ※
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	助教	相澤 純 ＜平成32年4月＞ 4学部合同セミナー
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	助教	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語
兼任	助教	藤澤 美穂 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 臨床心理学

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 医療と福祉 ※
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	准教授	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ アドバンスト生物 ※
兼任	教授	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	助教	相澤 純 ＜平成32年4月＞ 4学部合同セミナー
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ チーム医療リテラシー
兼任	助教	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語
兼任	助教	藤澤 美穂 ＜平成29年4月＞ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 臨床心理学



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	助教	蛭田(角井) 千鶴江 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	助教	小田 泰行 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	助教	寒河江 康朗 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	講師	寒河江 康朗 ＜平成32年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	助教	吉田 潤 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	大沼 仁美 ＜平成29年4月＞
		English Reading & Writing 英語学
兼任	助教	長谷川 大 ＜平成29年4月＞
		解析学入門 ベーシック数学
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 科学英語

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	助教	阿部 博和 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	助教	小田 泰行 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	助教	寒河江 康朗 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	講師	寒河江 康朗 ＜平成32年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	助教	吉田 潤 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	大沼 仁美 ＜平成29年4月＞
		English Reading & Writing 英語学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	長谷川 大 ＜平成29年4月＞
		解析学入門 ベーシック数学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	三浦 康宏 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	岩淵 玲子 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	助教	阿部 博和 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	助教	内藤 雪枝 ＜平成30年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	助教	小田 泰行 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	助教	寒河江 康朗 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	講師	寒河江 康朗 ＜平成32年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	助教	吉田 潤 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	大沼 仁美 ＜平成29年4月＞
		English Reading & Writing 英語学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	長谷川 大 ＜平成29年4月＞
		解析学入門 ベーシック数学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	三浦 康宏 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	助教	岩淵 玲子 ＜平成29年4月＞
		多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	教授	下沖 収 ＜平成30年4月＞
		地域医療課題解決演習
兼任	講師	及川 浩樹 ＜平成30年4月＞
		病理学概論 ※
兼任	助教	阿保 亜紀子 ＜平成30年4月＞
		病理学概論 ※
兼任	助教	高橋 智弘 ＜平成30年4月＞
		地域医療課題解決演習
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞
		English Reading & Writing

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	ジヨハン 曜 ｼﾞｻﾞｲ -小倉 <平成29年4月> English Speaking & Listening 医療英語
兼任	講師	ケン アサノ <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	サイモン タンゼント <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	赤坂 キヤリン <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 <平成31年4月> 医療情報論
兼任	講師	工藤 真由美 <平成32年4月> 看護教育論
兼任	講師	安達 登 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※
兼任	講師	柄内 新 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる <平成29年4月> 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 <平成29年4月> 医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	久保田 美恵子 <平成29年4月> 医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢 光正 <平成29年4月> 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 <平成29年4月> 医療と福祉 ※
兼任	講師	安田 敏明 <平成29年4月> 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤 博幸 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多 好郎 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	助教	ジヨハン 曜 ｼﾞｻﾞｲ -小倉 <平成29年4月> English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	講師	ケン アサノ <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	ダニエル ニューベリー <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	ヘミッシュ スミス <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 <平成31年4月> 医療情報論
兼任	講師	工藤 真由美 <平成32年4月> 看護教育論
兼任	講師	安達 登 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※
兼任	講師	柄内 新 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる <平成29年4月> 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 <平成29年4月> 医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	久保田 美恵子 <平成29年4月> 医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢 光正 <平成29年4月> 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 <平成29年4月> 医療と福祉 ※
兼任	講師	安田 敏明 <平成29年4月> 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤 博幸 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多 好郎 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	助教	ジヨハン 曜 ｼﾞｻﾞｲ -小倉 <平成29年4月> English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	講師	ケン アサノ <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	ダニエル ニューベリー <平成29年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	アントニオ ハリス <平成30年4月> English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 <平成31年4月> 医療情報論
兼任	講師	工藤 真由美 <平成32年4月> 看護教育論
兼任	講師	安達 登 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※
兼任	講師	柄内 新 <平成29年4月> アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる <平成29年4月> 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 <平成29年4月> 医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢 光正 <平成29年4月> 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 <平成29年4月> 医療と福祉 ※
兼任	講師	安田 敏明 <平成29年4月> 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤 博幸 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多 好郎 <平成29年4月> 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	内城 寛子 <平成29年4月>
		医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乗 賀也 <平成29年4月>
		社会福祉

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	内城 寛子 <平成29年4月>
		医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乗 賀也 <平成29年4月>
		社会福祉

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	内城 寛子 <平成29年4月>
		医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乗 賀也 <平成29年4月>
		社会福祉
兼任	講師	高橋 昇 <平成30年4月>
		臨床心理学
兼任	講師	長澤 昌子 <平成30年4月>
		緩和ケア論 ※
兼任	講師	竹内 可愛 <平成30年4月>
		緩和ケア論 ※
兼任	講師	萬徳 孝子 <平成30年4月>
		緩和ケア論 ※
兼任	講師	菅野 綾子 <平成30年4月>
		緩和ケア論 ※
兼任	講師	飛内 悠子 <平成30年4月>
		自然・文化人類学 ※

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・高橋和宏（兼任/准教授）退職に伴う就任辞退（後任補充予定）。
- ・昇任に伴い、奈良場博昭（兼任/准教授）の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、西塚哲（兼任/講師）の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、西谷直之（兼任/講師）の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、松浦誠（兼任/講師）の職名を「准教授」に変更。
- ・佐藤淳也（兼任/講師）退職に伴う就任辞退（後任補充予定）。
- ・蛭田（角井）千鶴江（兼任/助教）退職に伴う就任辞退のため、担当教員を阿部博和（兼任/助教）に変更。
- ・ジョナサン 曜 ヲン小倉（兼任/講師）任用に伴い、専任・兼任・兼任の別を「兼任」に、職名を「助教」にそれぞれ変更。
- ・教育内容充実のため、大沼仁美、長谷川大、三浦康宏、岩淵玲子、ジョナサン 曜 ヲン小倉（いずれも兼任/助教）を「多職種連携のためのアガミクリテラー」の担当教員に追加。
- ・工藤裕子（兼任/講師）の就任辞退により、「科学英語」の担当教員をジョナサン 曜 ヲン小倉（兼任/助教）に変更。
- ・サイモン タウンゼント（兼任/講師）の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をケニル ニューベリー（兼任/講師）に変更。
- ・赤坂 キヤリン（兼任/講師）の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をヘミッシュ スミス（兼任/講師）に変更。

【平成30年度】

- ・留意事項4への対応に伴い、高橋亮（専任/教授）、遠藤太（専任/講師）、三宅美智（専任/講師）の担当科目に「基礎看護学実習Ⅱ」をそれぞれ追加（平成29年8月教員審査済み）。
- ・杉山徹（兼任/教授・兼任/講師）退職に伴う就任辞退のため、「医学・医療入門」の担当教員を小笠原邦昭（兼任/教授）に変更。
- ・教育内容充実のため、佐藤孝（兼任/教授）が単独で担当する予定であった「病理学概論」の担当教員に及川浩樹（兼任/講師）、阿保亜紀子（兼任/助教）を追加。
- ・教育課程の充実のため追加した自由科目「地域医療課題解決演習」の担当教員として佐藤洋一（兼任/教授・兼任/講師）、下沖収（兼任/教授）、高橋智弘（兼任/助教）を追加。
- ・高橋和宏（兼任/准教授）退職に伴う就任辞退により、後任補充予定としていた「疾病論Ⅲ」の担当教員として天野博雄（兼任/教授）を追加。
- ・昇任に伴い、肥田圭介（兼任/准教授）の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、相澤文恵（兼任/准教授）の職名を「教授」に変更。教授就任による定年延長に伴い、兼任/講師を削除。
- ・昇任に伴い、田中良一（兼任/講師）の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、帖佐直幸（兼任/講師）の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、西谷直之（兼任/准教授）の職名を「教授」に変更。
- ・教育内容充実のため、内藤雪枝（兼任/助教）を「アドバンスト生物」の担当教員に追加。
- ・授業運営上の都合により、「自然・文化人類学」の阿部博和（兼任/助教）担当分を内藤雪枝（兼任/助教）に変更。
- ・工藤裕子（兼任/講師）の就任辞退により、「多職種連携のためのアガミクリテラー」の担当教員を内藤雪枝（兼任/助教）に変更。
- ・ヘミッシュ スミス（兼任/講師）の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をアントリュー ハリス（兼任/講師）に変更。
- ・久保田美恵子（兼任/講師）の就任辞退により、「医療とコミュニケーション」の共同担当分を平林香織（兼任/教授）単独担当分に変更。
- ・教育内容充実のため、高橋昇（兼任/講師）を「臨床心理学」の担当教員に追加。
- ・教育内容充実のため、長澤昌子、竹内可愛、萬徳孝子、菅野綾子（いずれも兼任/講師）を「緩和ケア論」の担当教員に追加。
- ・授業運営上の都合により、「自然・文化人類学」の担当教員に飛内悠子（兼任/講師）を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
7	3	10	11	31	7	3	7	7	24	7	3	10	11	31
(7)	(2)	(5)	(4)	(18)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65歳 教授以外：60歳 歳	5 名	7 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{31} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{5}{24} = \boxed{20.83} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計 「該当なし」

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率 「該当なし」

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計						後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 「該当なし」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (28年8月)	<p>1. 学生への履修指導に当たっては、科目区分「看護専門科目」、「発展科目」、「公衆衛生看護学関連科目群」及び「助産看護学関連科目群」の相互の関連性を踏まえて適切に行うこと。また、学生の主体的な科目履修を促すためにも、学生に対して、これらの科目区分の位置付けを十分に周知すること。</p>	<p>入学時のガイダンスにおいて、履修制度はもとより科目構成の考え方や科目区分の位置付けおよび選択科目の履修方法等を学生に十分に説明するとともに、シラバス（教育要項）にも掲載しているカリキュラムマップにより、科目区分相互の関連性を明確に提示した。また、オフィスアワーを広く設定するとともに、クラス担任制度やキャンパスサポーター制度等、学生が教員に質問や相談を行いやすい体制が構築されており、個別履修指導にも対応する。なお、学生へのガイダンスは、2年次以降も同様に実施することとしている。(29)</p> <p>1・2学年の学生に対し、年度当初のガイダンスにおいて、シラバス（教育要項）に掲載しているカリキュラムマップ等を用いて科目区分相互の関連性を明確に提示した。このほか、学生個々の履修指導にも個別に対応している。なお、次年度以降も学年毎に同様のガイダンスを実施するほか、3年次から開講する保健師・助産師養成課程を履修する学生向けにも個別のガイダンスを実施することとしている。(30)</p>	履行済
	<p>2. 保健師や助産師の資格取得のための履修者選抜時期や結果通知の時期は、在學生と編入学生の公平性を図るため編入学試験の時期に合わせて同時に行うという計画であるが、これらの時期は、在學生と編入学生それぞれの学修の進度に応じた適切な時期を設定すべきであり、同時期とすることは適切ではないことから、公平性の確保に留意しつつ、再度検討すること。</p>	<p>保健師や助産師の資格取得のための選択履修科目が3年次から開講されることに鑑み、在學生は2年次後期定期試験終了時に、編入学生は編入学試験の時期にそれぞれの定員を設定して選考することとする。なお、選考の透明性を確保するため、在學生や編入学生には、選考方法の周知徹底を図ることとする。(29)</p> <p>保健師や助産師の資格取得のための履修者選抜や結果通知の時期等に関する具体的なスケジュールを定め、選考方法、履修者数のほか志願理由書の様式等も併せて年度当初のガイダンス時に在學生に説明を行った。また、編入学生に対しては、入試要項やホームページ等により、選考方法等の周知徹底を図ることとしている。(30)</p>	履行済



区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年8月)	3. 科目区分「在宅看護学」に、分野の異なる地域看護学に関する授業科目を配置するのは不適切であるため、地域看護学に関する科目区分を新たに設けるか、科目区分「在宅看護学」の名称を地域看護学が含まれる名称に改めること。	留意事項	科目区分を「在宅看護学」から「在宅・地域看護学」に変更し、学則の別表を改正した。 ※学則変更の届出を提出済(29)
	4. 「基礎看護学実習Ⅱ」に、これまでの教育内容に加え、新たに基本的な看護過程の展開を学ぶ内容を追加したにもかかわらず、授業時間数、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュール及び教員の指導体制が追加前と同様であるため、追加された教育内容に見合った教育が可能であるのか不明確である。そのため、追加した教育内容に対応可能な授業時間数や実習施設の確保、学生の配置計画、実習スケジュール、教員の指導体制となるよう実習計画を適切に改めること。その際は、「基礎看護学実習Ⅰ」と「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数の比率についても、両者の授業内容に見合ったものとなっているか再度見直すこと。	留意事項	「基礎看護学実習Ⅱ」の期間を1週間から2週間に変更するとともに、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュールおよび教員の指導体制の見直しを図ることとした。これにより、「基礎看護学実習Ⅰ」の単位数を2単位から1単位へ、「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数を1単位から2単位へそれぞれ変更した。 ※学則変更の届出を提出済 なお、実習施設については、本学附属病院での受入れが可能であることを確認しており、教育体制の充実のため、科目開講時まで「基礎看護学実習Ⅱ」を担当する教員を追加する予定である(AC教員審査受審予定)。(29)  担当教員を追加し、教育体制の充実化を図ることとしていた「基礎看護学実習Ⅱ」について、専任教員3名がAC教員審査を受審し、平成29年8月に全員「可」の判定を受けた。(30)
	5. 看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格に係る科目のうち、共通する内容を教授するものについては、必要に応じて科目の統合や授業内容の調整を行い、学生の負担の軽減に努めること。	留意事項	保健師および助産師の国家試験受験資格に係る科目が開講される3年次までに見直しを行い、必要に応じて科目の統合や授業内容の調整を図ることとする。(29)  本件に関する検討を行うWGを設置し、看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格に係る科目のうち、共通の内容を教授する科目の統合や授業内容の調整に関する検討を行った結果、保健師・助産師の教育課程を再編し、公衆衛生看護学関連科目群と助産看護学関連科目群の各3科目2単位をそれぞれ1単位に変更することにより学生の負担を軽減することを機関決定した。(30)

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年8月)	6. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	科目開講時までにAC教員審査を受審し、確実に専任教員を配置することとする。(29)  教員の補充を必要とされた1授業科目について、専任教員1名がAC教員審査を受審し、平成29年8月に「可」の判定を受けた。これにより、科目開講時(平成32年度)までに専任教員を配置することができた。(30)	履行済
	7. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	完成年度後の後任者は、適正で厳格な審査による内部昇格や公募、本学附属病院との人事交流等により採用し、教育研究活動の活性化および教育研究水準の維持向上に努めることとする。なお、教授会に設置している人事教授会により、看護学部の将来構想を踏まえた専任教員の中長期的採用計画を策定する。(29)  平成29年度は、人事教授会を4回開催し、看護学部教員組織編制の将来構想を踏まえた専任教員の中長期的採用計画に関する議論を行ったほか、教員選考に関する諸規程を整備する等、後任者確保に向けた基盤構築を図った。(30)	未履行

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

## 7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

◆全学教育推進機構委員会 ※資料1:全学教育推進機構規程参照

本学には、全学的教育施策の企画および学部間の連携・横断教育を推進する全学教育推進機構が設置されており、所掌する事項を審議する機関として全学教育推進機構委員会が組織されている。同委員会では、全学的なFD等の企画・実施、授業評価ならびにシラバスの第三者チェックによる相互評価等、教員の資質の維持向上に関する審議も行っている。

◆看護学部教務委員会および教育評価・研修部会 ※資料2:看護学部教務委員会規程参照

看護学部教授会に看護学部の教務全般を所掌する教務委員会を設置している。同委員会には、授業評価に関する事項、認証評価等の実施および報告書に関する事項、教員FD(WS、シンポジウム等)に関する事項ならびに教育関連会議の情報収集および教員派遣に関する業務を専門的に担当する教育評価・研修部会が置かれている。

#### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

◆全学教育推進機構委員会

原則として月1回開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、平成30年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。

<平成29年度>

- ・第1回 平成29年4月27日(木) <参加者:本学教員13名(うち看護学部教員3名)>
- ・第2回 平成29年5月25日(木) <参加者:本学教員11名(うち看護学部教員2名)>
- ・第3回 平成29年6月29日(木) <参加者:本学教員8名(うち看護学部教員2名)>
- ・第4回 平成29年7月27日(木) <参加者:本学教員8名(うち看護学部教員2名)>
- ・第5回 平成29年8月31日(木) <参加者:本学教員6名(うち看護学部教員1名)>
- ・第6回 平成29年9月28日(木) <参加者:本学教員9名(うち看護学部教員2名)>
- ・第7回 平成29年10月26日(木) <参加者:本学教員11名(うち看護学部教員2名)>
- ・第8回 平成29年11月30日(木) <参加者:本学教員9名(うち看護学部教員2名)>
- ・第9回 平成29年12月28日(木) <参加者:本学教員9名(うち看護学部教員2名)>
- ・第10回 平成30年2月22日(木) <参加者:本学教員9名(うち看護学部教員2名)>

◆看護学部教務委員会

原則として毎月第2火曜日に開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、平成30年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。

<平成29年度>

- ・第1回 平成29年4月11日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第2回 平成29年5月9日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第3回 平成29年6月13日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第4回 平成29年7月4日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第5回 平成29年9月12日(火) <参加者:看護学部教員5名>
- ・第6回 平成29年10月10日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第7回 平成29年11月7日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第8回 平成29年12月12日(火) <参加者:看護学部教員5名>
- ・第9回 平成30年1月9日(火) <参加者:看護学部教員5名>
- ・第10回 平成30年2月7日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第11回 平成30年2月13日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第12回 平成30年3月5日(月) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第13回 平成30年3月13日(火) <参加者:看護学部教員5名>

<平成30年度>

- ・第1回 平成30年4月10日(火) <参加者:看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>

#### ◆教育評価・研修部会

必要に応じて開催することとしており、平成30年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。

##### <平成29年度>

- ・第1回 平成29年4月19日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>
- ・第2回 平成29年6月21日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>
- ・第3回 平成29年7月19日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>
- ・第4回 平成29年9月20日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>
- ・第5回 平成29年10月18日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>
- ・第6回 平成29年12月20日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>
- ・第7回 平成30年2月21日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>

##### <平成30年度>

- ・第1回 平成30年4月4日（水） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>

##### c 委員会の審議事項等

#### ◆全学教育推進機構委員会（抜粋）

- ・全学教育推進機構FDワークショップに関する事
- ・全学教育推進機構FD講習会に関する事
- ・第1学年多職種連携PBLワークショップに関する事
- ・教学に関するSD実施計画に関する事
- ・学修支援アンケートに関する事

#### ◆看護学部教務委員会および教育評価・研修部会（抜粋）

- ・看護学部FDワークショップに関する事
- ・助手を対象とした研修（助手指導年間計画）に関する事
- ・看護学部授業評価に関する事
- ・教養教育センター授業評価に関する事
- ・教育関連会議の情報収集および教員派遣に関する事

## ② 実施状況

### a 実施内容

#### I. 看護学部主催研修会

- ・看護師国家試験対策に関する研修会（国試などの成績分析、学生の学習状況分析、学生への支援、教員への支援、グループワーク・発表）
- ・ICTを活用した教育手法等に関する研修会（ヘルスケアにとって情報とは何か、SNSとの付き合い方、医療安全と情報、デジタルアプリケーションの看護への応用、グループワーク・発表）
- ・助手が実習指導に必要な知識や技術を習得し、学生指導に求められる能力を身に付けることを目的とした研修

#### II. 看護学部以外の学内部署主催研修会等

- ・看護学分野の基本的なデータベース「EBSCO CINAHL Complete」の利用方法等に関する講習会
- ・新規採用となった助教・助手を対象とした効果的な指導能力を身に付けるためのワークショップ
- ・チーム医療への自己効力感を高めるファシリテーター、チューターの養成に関する講習会
- ・学生発達の視点から捉えた大学教育に関する研修会
- ・新規採用となった助教・助手を対象とした本学の教育現状に関する講習会

#### III. いわて高等教育コンソーシアム主催研修会等

- ・コーチングの技法を取り入れた学生への指導方法に関する研修会
- ・コーチングの代表的な技法の1つである「傾聴」に焦点をあて、演習やワークを通してチームワークにおける傾聴が果たす役割や具体的な方法、実務への応用を学ぶ研修会
- ・授業と宿題の役割を「反転」させ、授業時間外に講義ビデオなどのデジタル教材等を使って知識習得を行い、教室では学んだ知識の確認、議論、問題解決学習等を行う授業形態である「反転授業」に関する研修会
- ・コーチングの3つの技法（傾聴、承認、質問）を体感し、学生指導への応用を学ぶ研修会

※「いわて高等教育コンソーシアム」は、国際通用性や教育の質保証など、大学を取り巻く状況、低迷する大学進学率や県内就職率などの地域的課題に対応するため、いわて5大学学長会議参加校が連携を強化し、地域の中核を担う人材育成を目指すことを目的に設立され、本学は、FD・SD活動を推進する「FD・SD連携推進委員会」の主務校として参画。

### b 実施方法

事前に策定する実施計画に基づき、講演・グループワーク・個別ガイダンス等の形式で実施している。また、必要に応じて看護系大学の協会や協議会等が主催する研修会へ積極的に参加したほか、録画した研修会動画のweb視聴も活用し、自己研鑽の機会を設けた。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

#### I. 看護学部主催研修会

##### (1) FDワークショップ

- ・平成29年度第1回看護学部FDワークショップ
  - 開催日：平成29年8月23日（水）
  - テーマ：国試合格100%を達成するためには  
実践報告：前任校での10年間にわたる国試対策（学生・教員支援およびデータ分析）からみえてきたこと
  - 参加者：看護学部教員19名、教養教育センター教員3名
- ・平成29年度第2回看護学部FDワークショップ
  - 開催日：平成30年2月1日（木）
  - テーマ：情報科学と看護—情報科学の基本から学生との3Dを活用した教材製作まで
  - 参加者：看護学部教員18名、看護学部就任予定教員4名、教養教育センター教員3名
- ・平成30年度第1回看護学部FDワークショップ <予定>
  - 開催日：平成30年7月7日（土）
  - テーマ：成績評価の方法—ルーブリックの作り方—
  - 参加者：看護学部教員、参加を希望する本学教職員

(2) 助手を対象とした研修(年間を通して複数回の研修を実施)

- 目的: 臨地実習を円滑に進めるための支援が行える助手の育成
- 内容: 大学、学部の教育理念・方針・目標・授業内容等のオリエンテーション、臨地実習における助手の役割の理解、研究活動に関する研修、領域別実習指導計画検討への参画等
- 参加者: 看護学部助手(平成29年度就任2名、平成30年度就任2名)

II. 看護学部以外の学内部署主催研修会等

- ・EBSCO CINAHL Completeデータベース講習会(主催: 附属図書館)
  - 開催日: 平成29年5月24日(水)
  - 内容: 検索画面の特徴やキーワード検索を用いての基本的な検索機能、効率の良い資料の探し方、キーワード検索以外の検索機能、便利な機能ツールの紹介等
  - 参加者: 看護学部教員19名
- ・全学教育推進機構FDワークショップ(主催: 全学教育推進機構)
  - 開催日: ①平成29年7月7日(金)~8日(土)  
②平成29年11月24日(金)~25日(土)
  - テーマ: 能動的学修(アクティブラーニング)を用いた授業設計と授業方法
  - 参加者: ①本学教員18名(うち看護学部教員3名)  
②本学教員12名(うち看護学部教員2名)
  - ※①・②の日程で同内容のプログラムを実施
- ・全学教育推進機構FD講習会(主催: 全学教育推進機構)
  - 開催日: 平成29年9月12日(火)
  - テーマ: チーム医療への自己効力感を高めるファシリテーター、チューターの養成
  - 参加者: 本学教員43名(うち看護学部教員5名)
- ・教育研修会(主催: 教養教育センター教育評価研修専門委員会)
  - 開催日: 平成30年1月12日(金)
  - テーマ: 学生発達の視点から捉えた大学教育の問題
  - 参加者: 本学教員27名(うち看護学部教員3名)
- ・全学教育推進機構FD講習会(主催: 全学教育推進機構)
  - 開催日: 平成30年4月2日(月)
  - テーマ: 岩手医科大学の教育現状と今後の展望について
  - 参加者: 本学新任教員15名(うち看護学部教員4名)

III. いわて高等教育コンソーシアム主催研修会等

- ・いわて高等教育コンソーシアムFD・SD研修会
  - 開催日: 平成29年9月11日(月)
  - テーマ: 学生への学修・研究指導に役立つコーチング技法(入門編)
  - 参加者: 教員52名(うち本学看護学部教員7名)
- ・いわて高等教育コンソーシアムFD・SD研修会
  - 開催日: 平成30年1月11日(木)
  - テーマ: 学生への指導、部下への指導、後輩への指導に役立つコーチングの観点を取り入れた「傾聴」体験とチームワーク
  - 参加者: 教員15名(うち本学看護学部教員3名)
- ・いわて高等教育コンソーシアムFD・SD委員会教育研究勉強会
  - 開催日: 平成30年2月27日(火)
  - テーマ: 学修効果を高める反転授業(Flipped Classroom)
  - 参加者: 教員15名(うち本学看護学部教員2名)
- ・いわて高等教育コンソーシアムFD・SD研修会
  - 開催日: 平成30年3月16日(金)
  - テーマ: 学生への学修・研究指導に役立つコーチング技法(実践編)
  - 参加者: 教員14名(うち本学看護学部教員2名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

看護学部が主催した研修会の概要や配布資料、事後アンケートの集計結果等については、「平成29年度看護学部教員研修会報告書」として取りまとめ、看護学部全教員に配布し振り返りを行った。これにより、恒常的な教育内容および教育方法の見直し・改善に役立てることとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

<実施状況>

- 平成29年度看護学部1学年開講科目
  - ・前期 教養6科目、専門5科目、他学部合同15科目(実施率100%)
  - ・後期 教養3科目、専門8科目、他学部合同7科目(実施率100%)
  - ・通期 教養2科目、専門2科目(実施率100%)

授業評価アンケートの実施時期は、原則として各科目の最終授業日としている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施状況や集計結果を報告書としてとりまとめ、教員や学生へのフィードバック等を目的として、学内向けホームページへ掲載を行ったほか、年間で評価の高い教員個人および科目に対して顕彰を行った。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成29年4月1日、岩手医科大学に看護学部看護学科を開設し、1期生95名（入学定員90名）が入学した。開設年度となる平成29年度は、助手を含む20名の専任教員が就任し、設置計画通り、1年次の授業科目を全て開講した。その中でも、本学の教育の特色であるIPE（多職種（専門職）連携教育（Interprofessional Education：IPE））関連科目「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」では、医学部、歯学部、薬学部、看護学部の1学年全学生が、4学部混在の少人数グループで学部の垣根を超えて共に学修し、それぞれの職種で共通に求められる知識や思考方法、コミュニケーション能力等を涵養したほか、大学教育に求められるスタディスキルの修得を図った。

キャリア教育の面では、入学当初の進路総合ガイダンスや現役看護師・保健師・助産師による職種別講演会を実施し、学生が自らの将来像を具体的に想像する機会を設けたほか、1年次後期に開講した「基礎看護学実習Ⅰ」での見学実習を通じて看護の実際を体験的に学修した。また、夏休み期間を利用した岩手県内の病院や介護施設等における看護体験や地域医療の現場で活躍する現役看護職員との交流セミナーへの参加を積極的に推奨し、職業観の醸成を図った。

学生サポートの面では、1学年は9名のクラス担任（うち3名は本学における豊富な学生指導経験を有する教養教育センター教員）を配置し、入学後の個人面談や出席不良者への個別対応等、きめ細やかなサポートを行った。この他、1年次の授業科目を担当する教養教育センター教員を中心に構成される「キャンパスサポーター」や健康管理センターに常駐する臨床心理士および保健師による相談・指導体制を構築しており、組織的に学生のバックアップを行った。

このような状況の下、1期生95名は、全員が所定の進級要件を満たし、2学年に進級した。学部設置の趣旨・目的である「高度化、多様化、専門化する医療や変動する社会ニーズに主体的・自律的に対応できる看護専門職者を育成する」ための第一歩として、看護学の学びの動機付けと看護専門職者としての自覚を培うことができた。看護学部では、今後も医療の現場に則した実践力を持った人材を育成すべく、医学部・歯学部・薬学部に加え附属病院を併設する医療系総合大学としての教育研究資源を最大限に活用し、総合的でバランスのとれた教育研究活動を推進することとしている。

また、本学は、教育・研究・診療活動の向上を図る見地から、「岩手医科大学自己評価委員会」を組織しており、建学の精神に基づく全学的な教育研究活動等の状況を自ら点検および評価を行っている。この他、当委員会では、平成29年度に看護学部を含む本学の教育・研究・診療および管理運営等に関する方針および方針に基づく今後の展望を「岩手医科大学運営方針と中長期展望2017-2026」として策定している。一方、看護学部では、教授会の下に「看護学部自己評価委員会」を設置し、教育研究活動等に関する自己点検・評価のほか、設置の趣旨や目的の達成状況に関する評価と改善方法等の議論を行った。平成29年度における看護学部の取組状況の点検・評価結果については、「自己点検評価報告書」として取りまとめており、年度毎にPDCAサイクルのどの位置にいるかを認識し、次年度以降の改善状況を明確化することとしている。なお、報告書の内容については、平成30年度に開催される岩手医科大学自己評価委員会で評価を受ける予定である。

平成30年度の学生受入れにおいては、看護学部アドミッション・ポリシーに則り、オープンキャンパスや進学相談会、高校訪問等の学生募集活動を積極的に展開した結果、前年度とほぼ同数の志願者・受験者を確保することができ、2期生として93名の入学生を受入れた。1・2学年の平均入学定員超過率は、1.04倍と適正かつ厳格な定員管理が行われており、これを継続することで設置計画に基づいた着実な学部運営を進めるとともに、社会の要請に応じた看護専門職者の育成に努めることとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成30年8月31日 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開する予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成25年度には、学校教育法に基づく認証評価を第三者評価機関である公益財団法人大学基準協会において受審し、教育研究水準ならびにその組織、施設設備、社会への貢献および管理運営等について「大学基準に適合している。」と認定された。認定の期間は平成33年3月31日までであり、平成32年度に次回の認証評価（公益財団法人大学基準協会）を受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成 30 年 6 月 29 日 )

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。